

公共汚水柵設置工事（公費）について

工事にあたって、以下の点について注意していただくようお願いします。

<施工>

- ◎公共汚水柵の基礎は、 $t = 50\text{mm}$ の砂基礎にしてください。柵設置深さは基本的に1.0m以上とし、 $\phi 200\text{mm}$ の塩ビ製の3方向合流タイプを使用してください。
- ◎公共汚水柵の柵設置深さが1.5mを超える場合は $\phi 300$ 以上の柵、2.0mを超える場合は0号以上の人孔を設置してください。
- ◎車両乗り入れ等で破損の恐れがある場所では鉄蓋の設置を検討してください。
- ◎建設副産物は適正に処分してください。
- ◎継手部分への接合剤塗布、番線処理は必ず行ってください。
- ◎乳剤は表面が全体的に黒くなるまで十分に散布してください。
- ◎掘削深さが1.5mを超える場合には、土留め矢板等を設けるなど、施工の安全確保を図ってください。

<完成書類>

- ◎完成後はすみやかに、工事報告書、完成図面、工事写真および請求書を提出してください。
- ◎完成図面は計画図面に**赤書き**で柵深さ、取付管延長、上流側人孔から管取付位置までの距離を計画と対比できるように記載し提出してください。

<工事写真について>

- ◎各工程の施工前後の状況が対照できるように撮影してください。
- ◎工事竣工後、外部から明視・判断できなくなる部分及び重要な工事段階の出来形・寸法等が明確にできるよう撮影してください。（準備工、掘削工、支管取付工（接合剤塗布・番線処理）、布設工、埋戻工、埋設シート、路盤工、仮復旧工、本復旧工（乳剤散布状況）、公柵設置工（砂基礎）、使用材料、保安状況、矢板工など）
- ◎完成写真は昼間に白線工等もすべて完了した時点で撮影してください。
- ◎写真帳には工事番号、工事名、工事箇所、工事施工者を記入した表紙をつけ、会社印を押してください。
- ◎各写真の内容を台紙のコメント欄に記入してください。

下水道課 管理係